

コンマット 50 施工要領

必要機材

クレーン クランプ(吊り金具) ワイヤロープ(2m/2本程度) ロープ(10m程度・介錯用)
スプレー カケヤ 大ハンマー 小ハンマー バール 稲刈鎌 カッターナイフ ハサミ
小皿 パレットナイフ 巻尺 スケール 水系 タガネ コンクリートカッター 発電機

施工準備

コンマットは基本的に車上渡しです。(大型トラック10~15車での搬入になります。)

現地のクレーン選定、施工範囲の確認、マットの仮置場所の確保を行って下さい。

コンマットの搬入日は、前々日まで確定・連絡願います。前日に大型トラックへ積置します。

仮置き

最初の車に専用クランプが積込まれてきますので、クランプの使用方法を必ず作業員全員で確認して下さい。(納入時にメーカー側が立会います。) マットの積み重ねは平坦な場所で基本的に10枚程度にして下さい。

施工(布設)する前に

コンマットは両サイドの布(不織布)をクランプで挟み込み、クレーンで吊り布設するものです。

法面は平坦であることを確認して下さい。(小石などで突起があるとブロックが盛り上がります。)

※ コンマット 約 500kg/枚、 クランプ 約 600kg
作業時吊上重量 約 1t 強となります。
クレーン作業には十分注意して作業して下さい。

施工

- クランプのセットは、マットを張る法面勾配に合わせてセットします。
⇒法面が急な場合は事前に相談して下さい。
- 1チーム6人編成で行います。(リーダー、クレーン誘導者を決めて下さい。)
- マットはシートの耳がある方が重ねしろです。水の流れのある場所は必ず下流側から張ります。
- 位置決め —— 最初の1枚が必ず基本になりますので、時間をかけても慎重に行ってください。
- 2枚目からは最初に法面に設置する位置を確認して、その場所にマーカーなどを付けて施工すると良いです。
- 後は上記の繰り返しです。⇒ズレが無いようにチェックしながら張って行きます。
アンカー(安定杭)の打設 —— 打設本数は法面勾配によって決定します。(※別紙資料参照)
- マットとの重ね合わせの場所を中心に打ち込みをします。

注 1:1.5以上法面がきつい場合は、マット布設後クランプをはずす前に必ずアンカーを2箇所以上打ち込んでおきます。(仮打込でも可)

※ 弊社でお知らせするアンカー位置・本数は、標準値です。

アンカー使用は、現場条件やマット使用形状(切断)等により現場毎に御判断下さい。

法肩・法尻の処理及び端部の処理

現地の施工条件によって処理して下さい。(※別紙資料参照)

- ・ コンマットは稲刈鎌及びコンクリートカッターで切断が出来ます。

コンマット目地ズレ及び端尺処理

- ・ マットを切断し、シートの耳がなくなった箇所は別途シートのみを下に敷いて土砂の吸出しを防止します。
- ・ 小さいブロックが入る場所は専用の接着剤にて張って下さい。それ以外は基本的に必要ありません。

カーブ・コーナー処理

上下で横方向の長さが違う場合は、400×400のブロック単位で階段状に切断後接合し、上記の端尺と同様に処理します。

安全上の注意事項

- ・ 作業範囲を必ずクレーン運転者と事前に確認する事
- ・ マットの吊り上げ時、マット下の立入禁止
- ・ マットのシート挟み込み時の確認⇒必ず平行に、折り重ね禁止
- ・ クランプには衝撃等を加えない事
- ・ 作業手袋等安全な作業着の着用
- ・ 法面勾配や施工条件により、昇降設備や転落防止設備を施す。
- ・ 風・雨など悪天候での作業禁止
- ・ クレーン以外の吊り上げ禁止

※ その他の安全基準に従い、施工願います。

ブロックマット工法は、日本において過去30年程死亡事故はありませんが、クランプからマットが外れる事故や、ブロックの間に指をはさむ事故が数件ありました。十分な機材の点検と、お互いの作業責任を守って行って下さい。